

こんにちは、薬用資源学研究室の新井です。

九月も半ばに入り、秋分を向かえようかという頃合いになりました。学生は後期の講義や実習が始まったばかりでまだまだ体が慣れない時期かもしれません。

今回は9月中旬現在、薬草園で見ごろを向かえている花々を紹介したいと思います。中には皆さんの生活に身近な植物や、ちょっと面白い形した植物があるかと思います。

ウコン (ショウガ科)

Curcuma longa

生薬名: **鬱金** (ウコン)

薬用部位: 根茎

主要成分: クルクミン、精油成分ツルメロン

薬効: 利胆、肝保護作用

花言葉: 乙女の香り、あなたの姿に酔いしれる



ウコンは熱帯アジア原産の多年草で草丈40~50cm、花穂は約20cmある大きな植物です。ウコンは、カレーのスパイスである**ターメリック**として有名です。ウコンに含まれる黄色色素の**クルクミン**には**利胆、肝保護作用**があります。また、ウコンには有害な**アセトアルデヒド**を分解する作用があり、「二日酔いに効く生薬」として注目されています。“ウコンの力”、一度はお世話になった方も多いのでは？



トケイソウ (トケイソウ科)

Passiflora caerulea

生薬名: **西番蓮** (セイバンレン)

薬用部位: 全草

主要成分: ピロカテコール、パルミチン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸など
薬効: 鎮静、鎮痙作用など
花言葉: 信心、宗教、信仰

トケイソウは南アメリカの熱帯、亜熱帯原産の多年生のつる性草本で、その名の通り**花が時計のよう**な**形**をしたとても面白い植物です。先端部にある赤紫色の3本の花柱がまるで時計の針のようです。大きさは約5~7cm。ご覧の通り、ちょっとした腕時計にも見えます。



トケイソウは**別名“パッション・フラワー”**といい、花の形状や配列が**キリストの磔(はりつけ)**を連想させます。花言葉の由来もここから来ているようです。

コガネバナ (シソ科)

Scutellaria baicalensis

生薬名: **黄芩** (オウゴン)

薬用部位: 根

主要成分: バイカリン、オウゴニン

薬効: 消炎、解熱作用など
花言葉: ひそかな輝き



コガネバナは**淡い紫色の花**を咲かせる多年草で、**草木染めの染料**として知られている植物です。花の形がまるで波立つように見えることから**別名“タツナミソウ”**と呼ばれています。実際にコガネバナの咲いている様子を見ると波が立っているように見えます。コガネバナを漢字で書くと**「黄金花」**。しかしながら、ご覧のように花の色は黄色ではないのでご注意。生薬名にある通り、**黄芩の黄**は根の内部の色を表しています(ちなみに芩はコガネバナのこと)。根に含まれる主要成分の**バイカリン**は原産地の一つ、モンゴル北部にある**バイカル湖**が由来とのことです。

薬草園ではその時々で様々な植物が色々な顔を見せてくれます。ふと訪れると、日常に思いがけない新たな発見があるかもしれません。是非気分転換がてら薬草園を散歩してみてください♪